

講義名称	子ども家庭福祉	担当教員名	小野澤 昇
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の本質・目的に関する科目 (EG) 必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMEG1103

授業のキーワード	子どもの最善の利益、子どもの権利条約、児童福祉法、養護問題、児童福祉施設、社会的養護
授業の概要	子どもの家庭福祉は、保育専門職者としての学びを深めていくための最も基礎的な科目です。児童福祉法をはじめとする法制度や各種政策、歴史的背景、近年の児童家庭福祉の動向などについて学びます。
期待される学習成果 (目標)	学習を通して「子どもの最善の利益を守る」ために様々な法制度を活用し、保育士として子どもと家庭が抱える問題を理解し、適切な支援に結びつけられるよう理解を深めて行くことが求められます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション、子ども家庭福祉とは	授業の概要説明や子ども家庭福祉とはどのようなことかについて学びます。
2	子ども家庭福祉の概況	子どもや家庭に関する現状や、次世代育成支援などについて学びます。
3	多様な保育ニーズと課題	保育の活動は児童家庭福祉の大切な一分野です。保育に関する現状と課題について学びます。
4	子ども家庭福祉の歴史的な変遷①	子ども家庭福祉の国内の歴史的な変遷について学びます。
5	子ども家庭福祉の歴史的な変遷②	子ども家庭福祉の国外の歴史的な変遷について学びます。
6	子ども家庭福祉の制度と実施体系①	子ども家庭福祉に関する国の制度や実施体系について学びます。
7	子ども家庭福祉の制度と実施体系②	子ども福祉法を中心とした法体系について学びます。
8	子ども家庭福祉の現状と課題①	少子化と地域子育て支援、母子保健と子どもの健全育成等について学びます。
9	子ども家庭福祉の現状と課題②	子どもの養護問題や児童福祉施設など子どもたちの安全を守るための取り組みについて学びます。
10	子ども家庭福祉の現状と課題③	社会的養護（養育）の現状と課題について学びます。
11	子ども家庭福祉の現状と課題④	子ども虐待・DV（ドメスティックバイオレンス）などについて学びます。
12	子ども家庭福祉の現状と課題⑤	障害や病気とともに生活している子どもや家族への対応について学びます。
13	子ども家庭福祉の現状と課題⑥	子どもの貧困や貧困家庭に対する理解と支援のあり方について学びます。
14	子ども家庭福祉の動向と展望①	保育や教育・療育、医療などとの連携やネットワークについて学びます。
15	子ども家庭福祉の動向と展望②（まとめ）	子ども家庭福祉の現状を踏まえ、今後の課題や展望について総括的に学びます。

定期試験	授業で学習した内容に何する筆記試験を行います。
授業時間外学習	教科書や新聞などのニュースに関心を持って積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	学期末の試験 60%、レポート課題等の提出物30%、授業貢献度10%により総合的な評価を行います。
使用する教科書 (必ず購入してください)	松本峰雄/野島正剛編 改訂『子どもの福祉』建帛社 (BNC 678-4-7979-5121-8)
参考文献	授業の中で紹介します。